

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年9月30日

埼玉県鉱工業指数(令和4年7月分)

～生産、出荷ともに「低下」～

鉱工業指数は景気や経済の動きを把握することを目的としており、製造業の事業所における活動状況を表すものです。

景気の動きに敏感で、速報性があるため足下の景気動向を判断する指標の1つとなります。

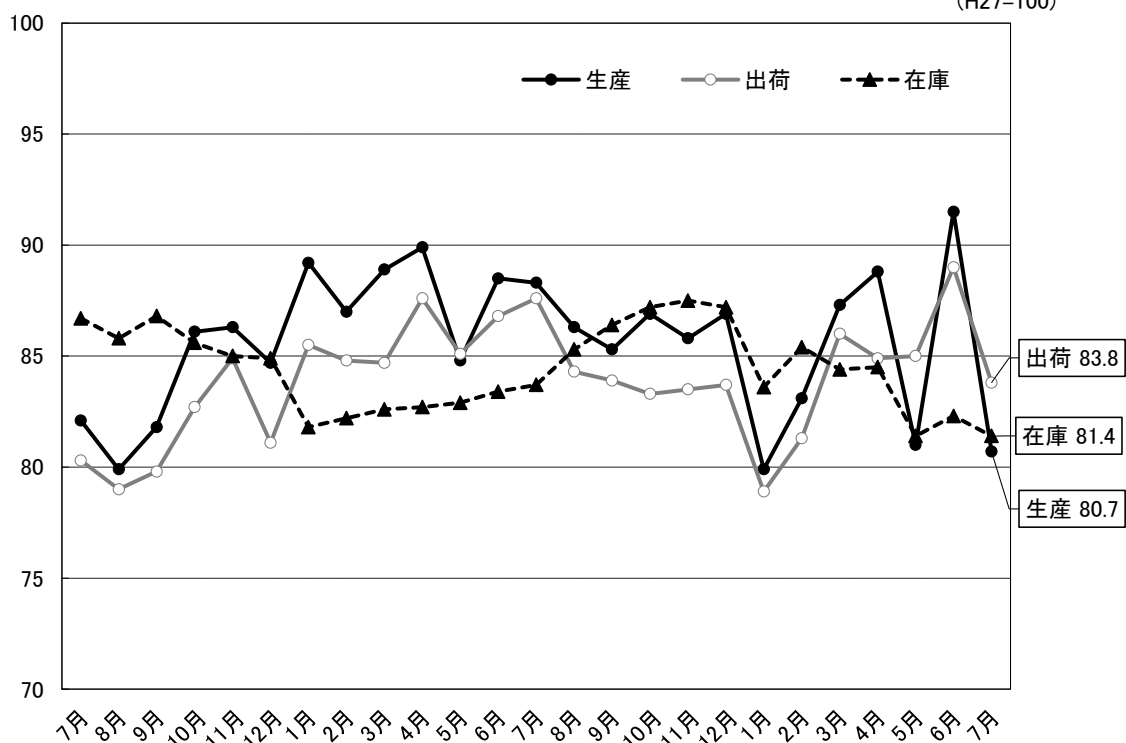
1 概要

令和4年7月の生産指数は、生産用機械工業、化学工業などの低下により2か月ぶりの低下となりました。出荷指数は、生産用機械工業、輸送機械工業などの低下により3か月ぶりの低下となりました。在庫指数は2か月ぶりの低下、在庫率指数は3か月ぶりの上昇となっています。

(平成27年=100)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
生産	80.7	-11.8	-9.0
出荷	83.8	-5.8	-4.7
在庫	81.4	-1.1	-2.8
在庫率	110.1	13.5	9.6

(H27=100)



2 業種・品目別動向（生産・出荷23業種）

＜生産＞ 上昇・6業種、低下・16業種、横ばい・1業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、医薬品などを含む化学工業など16業種で低下しました。

一方で、空気圧機器などを含む汎用機械工業、電気計器などを含む電気機械工業などの業種で上昇しました。

＜出荷＞ 上昇・6業種、低下・17業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、自動車エンジンなどを含む輸送機械工業など17業種で低下しました。

一方で、医薬品などを含む化学工業、空気圧機器などを含む汎用機械工業などの業種で上昇しました。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県鉱工業指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a099/index.html>